

グローバル超実践ルートテクノロジープログラム

SDGsの解決に資する「材料科学」と「電気工学」が融合した全ての産業の根幹をなす「ルートテクノロジー」の知のプロフェッショナルを養成

明確な出口イメージを持つ3コース制



持続可能モビリティ
スマートファクトリー
クリーンものづくり

修了生のキャリアパス

新規産業分野を開拓できるストラジスト
幅広いビジョンを持ったグローバルリーダー
世界の各地域を再生できるプロデューサー

学修モデル

技術科学イノベーション専攻(2015年～)を核とした
本学の強みを生かした先導的プログラム

- 約半年間に及ぶ実務訓練制度をはじめとした実践教育
- 海外大学と協働した多様なグローバル教育
- 「材料科学」と「電気工学」分野の研究において世界トップレベルの研究実績



ターゲット設定
3機関主査設定
基礎・応用科目習得

- 社会人学生・他大学等の多様な学生の獲得
- 多角的な素養を検証する入試制度

本専攻における開講科目

必修

- 技術科学イノベーションセミナーI,II
- 技術科学特別実験I,II
- 技術科学イノベーション特論
- プロジェクトリーダー実習
- 海外リサーチインターンシップ
- IT実務演習
- 研究者倫理

選択

- 国際サマースクール
- 技術科学企画立案手法演習
- 研究指導実習
- イノベーションケーススタディ
- ベンチャー起業実習
- 技術科学ファシリテーション

育成する人材像

- グローバルセンス
- 先端IT習得センス
- 学術領域開拓能力
- 社会実装実践力
- 先駆的人間力

新規スキルを獲得し続け、新産業を創成できるプロデューサー能力のある情報システムに精通したタフなインベティフ人材

教育プログラムに対する国際認証

SDGsへのコミットメントの国際認証を取得
⇒海外コンソーシアム大学と共に本プログラムをUNESCOのUNITWINへ展開



グローバル超実践教育とは？

『自ら学ぶ「アクティブラーニング」を超え、チームを先導し、問題解決を実証する体験を通じて、失敗をしつつもそれを克服する過程を現場で積むこと』

国際基準の知のプロフェッショナルへ

5年次

国内外企業 プロジェクトリーダー実習

大学研究所 海外リサーチインターンシップ

再挑戦

自己表現

挫折

反復実習

気付き

国内外企業 プロジェクトリーダー実習

大学研究所 海外リサーチインターンシップ

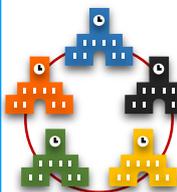
超実践教育科目

プログラムの質保証の指標

- ◆修了要件
学術論文2報、学外組織主催のコンテストへの参加、実務的なITシステム開発の経験、「反復実習」の経験
- ◆海外企業等での実務経験比率
平成33年度までに30%
- ◆アカデミック分野外への就職率
平成33年度までに40%
- ◆専攻常勤教員一人あたりの年間Top10%学術雑誌への投稿論文数
平成33年度内に2報/年

グローバル実践教育を実現するための場の構築

海外実践教育コンソーシアム



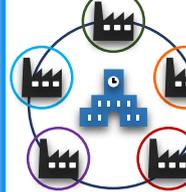
- コンソーシアム大学同士の相互インターンシップ実施
- サマースクール開講
- 共同研究指導の実施
- カンファレンスの開催

共同工場



多様な技術・企業が結集した共創現場における実習(運営リーダー・組織プロデューサー的な立場で)

オープンイノベーションキャンパス



多企業解決型の共同研究開発に参加(未開拓産業分野の開発に主体的に参画)